

安田 喜代一 議員

3月定例会では、令和3年度の予算案を審議し賛成し可決されました。昨年は全世界で新型コロナウイルス感染症が大流行し、経済や私たちの日常生活は大きな影響を受けました。町の税収等も影響により減収となり、コロナ対策経費の支出も引続き見込まれます。提出された一般会計予算は総額129億4000万円、前年比2・6%の減で厳しい状況を改めて感じました。コロナ収束の見通しが立たない状況ですが、コロナ対策に真摯に取り組みつつ、町の未来に向けての取組も継続していく必要があります。

古立 憲昭 議員

①新型コロナウイルスワクチン接種について本町の対応を問う。住民の皆様が安心・安全に接種が出来るよう、特に高齢者がスムーズに受けられるよう、接種計画、医師会との協力体制、高齢者の優先計画、受診票の発送、予約の有無、ワクチンの物流と管理、接種会場の体制、広報及び相談体制、高齢者の会場までの交通手段を問う。②高齢者施策について問う。(1)ごみのふれあい収集(2)買い物弱者への移動販売。どちらも最近実施されたが、あまり住民に知

られていないためその現状を問い、大事な施策につき今後いかに充実させるかを問う。

西川 六男 議員

①コロナワクチンの確保が混迷していますが、早急に接種の体制を作り、その情報を的確に町民に知らせる事を求めました。また感染拡大を防ぐ為に国・県の方針に従い、身近な医療機関や国保中央病院で希望すればPCR検査ができる体制作りに取り組み事を、9月・12月議会に引き続き求めました。②愛和会が新設する学童保育に町が補助金を交付する事が適切かたまたました。③町から月に約1000万円以上の運営費等を補助して保育所を新しく作られます。その設置者選びが公正で競争性や透明性が確保されたか問いました。

吉田 容工 議員

スプリング入りのベッドを責任をもって大型ごみとして収集するよう町に求めました。町の答弁は「やまとクリーンパークでは処理できません。」というものでした。御所市はどうしているのか？との問いに、御所市はそのまま収集しているという答弁でした。そこで、廃棄物の処理及び清掃に関する法律には、一般廃棄物を処理する責任は町にあると

定めている。「本町は、町の責任を町民に転嫁している。」と指摘すると、町はしぶしぶ転嫁していることを認めました。さて、何時から収集を開始するのか、みなさん注視しましょう。

植田 昌孝 議員

予算審査特別委員会では、やまとクリーンパークへの持ち込みゴミについて本町の負担が増加していることについて御所市、五條市については人口減少によるゴミの減少が大きいく本町の負担が増えているとのこと。本町のゴミ減量化については食品資源の肥料化や廃プラスチックの取り扱いも強化していくとの事。また、旧清掃工場跡地について地下埋設物については環境に悪影響を及ぼすものではないが地下水のモニタリングは必要であるとのことで、何れにしても必ずモニター会議等で全員の同意が得られるように進めていきたいとのことでありました。

松本 美也子 議員

①待機児童対策について 田原本町全ての家庭で子育ての願いをかなえるために、待機児童の保護者の実情に応じた多様なプランの提供等、子ども未来課での専用相談窓口の整備。保護者の緊急事態時の特別措置

の判断基準の策定。3歳児の入園・入所の拡充について。②死亡後の手続きの「おくやみワンストップコーナー」の設置、死亡後の各種手続きをまとめたわかりやすいハンドブックの作成等。③消防団員確保対策④国のモデル事業を活用し、災害時に支援が必要な避難行動要支援者の個別支援計画の策定について質問。

小走 善秀 議員

田原本町南地区市街地再開発事業の組合設立が奈良県において認可されました。実施設計が行われ進み始めました。

令和4年度から建物除去工事、建設工事が行われ、令和5年12月工事完了予定との報告を受けました。議会・まちづくり検討特別委員会としても、この町の玄関口の再開発ビル二階部分に設置する、公共施設部分をどのようにするか、真に町民のため、町活性化のため検討提案していきたい旨を申し入れました。

議会を傍聴してみませんか
次回定例会は、6月上旬
に開催（予定）します。
議会事務局
☎ 34・2119

議会だより

令和3年 第1回定例会

発行 田原本町議会
編集 議会編集委員会

令和3年田原本町議会「第1回定例会」が3月4日から19日まで16日間の日程で開かれました。
開会日の3月4日には森町長が令和3年度施政方針、提出議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われ、3月19日に閉会しました。

議案概要

《報告を受けた案件》

- 町長の専決事項の指定についての報告
- ・賠償事故に係る損害賠償額の決定について（3件）
- ・社会福祉協議会駐車場他雨水ポンプ施設整備工事の変更契約締結について

《議案の撤回》

令和2年第4回定例会に提出された継続審査中の「田原本町債権管理条例」の撤回を許可しました。
理由 放棄できる債権の額に上限を設けたうえで、再度、今定例会に提出するため。
※議案の撤回とは町長から提出された議案を議決により、当初から提出されなかった状態に戻すことです。

《可決した議案》

○令和3年度各会計当初予算

予算審査特別委員会を設置し、2日間審査しました。予算の概要は広報たわらもと4月号をご覧ください。

田原本町一般会計予算、田原本町国民健康保険特別会計予算、田原本町介護特別会計予算（賛成多数）

田原本町後期高齢者医療特別会計予算、磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計予算、田原本町水道事業会計予算、田原本町下水道事業会計予算（全員賛成）

○令和2年度田原本町一般会計補正予算（第8号）（全員賛成）

補正予算額は、1億3775万3000円の増額で、補正の内容は、総務費で、奈良県平成緊急内水対策事業に係る県補助金の減債基金への積み立てによる増額。民生費で、保育所・学童保育所等の感染症対策に係る衛生用品等の購入費、昨年の小学校臨時

休業時の学童保育所開所に伴う指定管理料、出生見込み数の増加に伴う新生児への臨時特別給付金などの増額。土木費で、工業ゾーン周辺等道路改良工事費の増額。教育費で、小中学校幼稚園における感染症対策に係る衛生用品の購入費の増額。
歳入補正は、地方譲与税及び地方消費税交付金の減額と、それを補填するための*減収補填債の発行、予算措置した新型コロナウイルス感染症対策の財源の振り替えも含め、国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金及び地方債。（※減収補填債とは、地方税等の減収を補うために発行される地方債で、返済費用を国が原則75%補填するもの）

繰越明許費補正は、行政手続整備支援業務委託事業ほか9件について本年度内に完了できないなどの理由により、翌年度に繰り越すもの。
地方債補正については、農業基盤整備促進事業、道路新設改良事業をそれぞれ増額し、中学校空調設備整備事業を減額し、減収補填債を追加するもの。

○令和2年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（全員賛成）

補正予算額は、80万円の増額で、補正の内容は、令和元年度特定健診・保健指導負担金の確定に伴う返還金。歳入補正については、繰入金及び繰越金補正を行うもの。

○令和2年度田原本町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）（全員賛成）

補正予算額は、325万1000円の増額で、補正の内容は、コンピューターシステム改修等業務委託料及び後期高齢者医療広域連合自納付金の増額。歳入補正については、国庫支出金及び繰入金補正を行うもの。

○田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例（全員賛成）

国民健康保険税率の県単位化に伴い、国民健康保険税の減免基準を県内で統一するために所要の改正を行うもの。

○田原本町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（全員賛成）

子ども・子育て支援法の改正に伴い、引用法令の条項等による条文の整備を行うもの。

○田原本町介護保険条例の一部を改正する条例（全員賛成）

第8期介護保険事業計画の策定に伴い、計画期間中の介護保険料を定めるもの。（※第7期と同額）

○田原本町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例（全員賛成）

厚生労働省令等の改正に伴い、介護サービスに係る基準に関して、人員及

び配置基準の見直し、感染症対策等の強化、高齢者虐待防止の推進、地域と連携した災害への対応強化等について所要の改正を行うもの。

○田原本町国民健康保険条例及び田原本町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例（全言賛成）

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症の定義について所要の改正を行うもの。

○田原本町自転車駐車場条例の一部を改正する条例（賛成多数）

田原本町自転車駐車場の運営に関し、事務の一部機械化に伴う開場時間の変更及び歩行補助車の対応、書類再発行に伴う手数料等について所要の改正を行うもの。

○田原本町道路線の認定について（全言賛成）

新たに阪手56号線及び金剛寺14号線の2路線を認定するもの。

○奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更について（全言賛成）

葛城広域行政事務組合の解散に伴い規約の変更等を行うもの。

○田原本町債権管理条例（賛成多数）

町の債権管理に必要事項を定めることにより、債権管理の適正化



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

竹邑 利文 議長

東日本大震災発生から丸10年の節目を迎えました。本町で以前から防災無線の間こえづらさが懸案でしたが、それを補完するため、コミュニティFMの立ち上げ予算が提案され可決されました。今後起こると言われている南海・東南海地震への備えとして有効であると考えます。さて3月定例会では20件の案件を慎重に審議し、議決するとともに、7名の議員が一般質問により町政を質しました。また、開会初日には町長より提案された新年度予算や施政方針も含めた説明を受け、委員7名を選出して予算審査特別委員会を設置し、慎重に審議しました。

藤井 誠人 議員

一般質問にて、児童・高齢者・障害者などへの支援など持続可能な行政運営に向けた取り組みについて、業務プロセス改革を検討し、ICT等の活用による業務の効率化を図ると

及び効率化を図り、公正で円滑な行政運営に資することを目的に制定するもので、放棄することができる債権の上限額を1件50万円以下とするもの。

《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて

氏名 中川和子氏

任期 令和3年7月1日から

令和6年6月30日

《選任した人事案件》

○奈良県広域消防組合議会議員の選出について

氏名 植田昌孝氏

任期 令和3年4月1日から

令和3年9月25日



《総務文教委員会》

質問 田原本町自転車駐車場条例の一部を改正する条例について、駐車料金の1日の捉え方は。また、耳の不自由な方への対応は考えているのか。
回答 利用開始から24時間を1日としている。耳の不自由な方への対応は、利用説明の看板やチャシの設置を考えている。また、職員が不在時には

モニターを通しての筆談で対応する。

《田原本町債権管理条例の経過》

令和2年第4回定例会で継続審査となった田原本町債権管理条例は、町長より撤回の申し出があり、今定例会初日に許可されました。変更した議案を改めて今定例会に提出された議案からの変更点は、議会の議決を経ずに放棄することができる債権（行政財産使用料などの非強制徴収公債権、水道料金などの私債権）の上限額を100万円以下とするものでしたが、慎重に審査を行うなかで、議会のチェック機能の發揮と本町事務の効率化の観点とのバランスを考えたとき、放棄することができると、委員から修正案が提出され、賛成多数で承認しました。

《厚生建設委員会》

質問 令和2年度田原本町一般会計補正予算について、土木費に唐古西代線道路改良工事が含まれているが、これで完成するのか。
回答 唐古西代線道路改良工事については、今回は西代にある信号交差点から西へ約100mの区間で工事を行う。これで寺川から交差点までの区間については完了する。奈良ト

もに、税の公平性の観点から収納率向上について質しました。同時に、コロナ禍で事業収入が減少している中小企業への固定資産税及び都市計画税の今後の救済措置について質し、支援することを確認しました。
予算委員会では、ゴミ出しが困難な1人暮らしの要介護認定の高齢者や障害者への支援を拡充するよう問い、検討すると回答。他5点、質しました。

梶木 裕文 議員

一般質問にて①新型コロナウイルス対策について②県有地の有効利用について③学校の校則について④旧清掃工場跡地調査結果について質問。新型コロナウイルス対策については情報発信の整備拡充の必要性について問う。県有地の有効利用については旧志貴高校校舎跡地等の活用について合宿所や宿泊施設等についての見解を求め、笠形県営住宅の老朽化問題等については今後どういったプラン、どのような方向性で進めていくのかについての質問に対し、土地、施設を何か有効利用できないかを県に提案し働きかけをしていくとの答弁。

山田 英一 議員

近い将来高い確率で来るであろう地震に備え、水道水の安定供給のため水道施設が緊急時にどれだけ迅

ヨタから西へ約200mの区間については、まだ1・2年かかる予定。

質問 田原本町介護保険条例の一部を改正する条例について、第8期介護保険事業計画策定に伴い、なぜ多段階化が採用されなかったのか。また、介護保険料はどうなるのか。

回答 多段階化については、次回第9期計画で大幅な値上げが予想されるため、その時に多段階化も検討する。今回は、現在の9段階を維持するもの。また、令和3年度から令和5年度の計画期間中の介護保険料は、第7期と同額となる。

《まちづくり検討特別委員会》

経過等 閉会中に行ったまち歩きなどの現地調査を踏まえ、田原本駅前周辺の活性化について意見交換を行った。担当課からの報告 田原本駅周辺の活性化について検討するため、駅前再開発の進捗について説明を求めた。

町議会ホームページをご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録などについて情報発信しています。過去の議会も見ることができます。

令和3年最初の定例会で、来年度の事業が審査されました。コロナ感染症防止対策に重点をおき、災害に強いまちづくりが進められると、子どもから高齢者まで、安心して暮らせる未来を見据え、全力で取り組まれていると実感しました。災害時の防災情報の発信として、コミュニティFMを立ち上げ、災害発生前後の避難情報やライフラインなど、きめ細やかな行政情報の発信が行われることは、平常時の活用にも繋がられると感じました。引き続き、住み続けたい未来を実現するための施策を進める予算を形成され活用されていくと思います。

森井 基容 議員

総務文教委員会において継続審議となっていた田原本町債権管理条例の審議において、12月定例会より指摘していた放棄できる債権の額の上限を設定することにより、議会の議決権と行政の事務処理の効率化のバランスがとれるとの主張に対し、議案の撤回と再提案がありました。しかし、上限額の設定があったもので、100万円を上限とするものでした。先述のバランスがとれていないと判断し、100万円を50万円に改める修正案を委員長に提出し、委員会及び本会議において賛成多数で修正案通り承認されました。

村上 清司 議員

建設予定で駅前も大きく変貌します。